

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	血漿から濃縮した止血因子の有効な作製とその乾燥化の確立 (有効なクリオプレシピテートの院内調製と凍結乾燥化の基礎検討)
研究期間 (西暦)	2019年4月 ~ 2023年3月
研究機関名	東京都立墨東病院 輸血科
研究責任者職氏名	部長 藤田浩

※理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

研究の説明
<p>1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等 血液の成分の一つである血漿には、出血を止める止血物質が含まれています。出血している傷病者に対して、短い時間で、かつ有効に止血するために、血漿中に含まれる止血因子を濃縮したもの（クリオプレシピテートといいます）を投与することで、救命率、生活復帰率を上げることができます。今回の研究目的は、有効な止血因子の濃縮条件を探求することと、災害にも使いやすいように乾燥したものを作製することです。予想される結果は、濃縮条件は過冷却（下記参照）が最善な方法で、凍結乾燥ができることです。作製されたもので、培養細胞への影響を検証すると、有効な結果が得られるでしょう。</p> <p>2 使用する献血血液等の種類・情報の項目 献血血液等の種類：血漿（規格外） 献血血液等の情報：なし</p> <p>3 献血血液等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名 東京医科歯科大学大学院分子細胞機能教室 中浜健一</p> <p>4 研究方法《献血血液等の具体的な使用目的・使用方法含む》 献血血液等のヒト遺伝子解析：■行いません。 □行います。 《研究方法》濃縮された止血因子を含む血漿（クリオプレシピテート）を再凍結する際に、止血因子が破壊されないように過冷却（本来、凍結する温度で凍らない冷蔵庫の使用）します。凍結乾燥装置で作製した製剤を、患者さんの輸血治療の観点から、細胞レベルの品質評価いたします。</p> <p>5 献血血液等の使用への同意の撤回について 研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。</p> <p>6 上記5を受け付ける方法 「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。</p>

受付番号	
------	--

本研究に関する問い合わせ先

所属	東京都立墨東病院 輸血科
担当者	藤田浩
電話	03-3633-6151
Mail	hiroshi_fujita@tmhp.jp

本書は日本赤十字社ホームページで公開され、必要に応じ献血者への説明資料として使用されます。